



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services

MSW ニュース

No.142 号

発行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部

編集：牧港中央病院 小橋川 聡

事務局：沖縄県総合福祉センター 西棟 2 階 小規模団体室

〒903-8603 那覇市首里石嶺 4 丁目 373-1

TEL ; 090-3790-2756 FAX ; 098-893-1221

Eメール ; jim.msw.oaswhs@gmail.com

回覧などの際はプリントアウトなどしてください

目次

- ・①入退院支援連携デザイン事業報告……………p2
- ・②新入会員紹介……………p3
- ・③ゆたしく うにげ～さびら……………p3
- ・④トピックス（琉球新報「福祉の窓」掲載済記事）……………p4～5
- ・⑤各部会からのお知らせ……………p6～8
- ・⑥理事会議事録……………p8～12

< 休 載 >

- ・研修報告
- ・自主勉強会報告
- ・実習生受入報告

入退院支援連携デザイン事業多職種研修報告

開催日時

令和6(2024)年10月30日(水)19:00～21:00

テーマ

「病院・施設での『身寄りがない人』の支援体制づくり」

目的

医療と介護の連携に係る入退院支援に関わる専門職の資質向上をめざし、「本人の意思を尊重した入退院支援と療養生活の実現～『身寄り』問題解決の方向性～」について学ぶ

対象

医療ソーシャルワーカー及び退院調整看護師、地域包括支援センター職員、介護支援専門員等、地区医師会コーディネーター、市町村職員、その他関係職種等

プログラム

19:00～19:10 開会挨拶:沖縄県保健医療介護部 地域包括ケア推進課 長嶺勝仁氏

講師紹介: 縄県医療ソーシャルワーカー協会 理事 樋口美智子 氏

19:10～20:10 講演:「魚沼市における身よりのない人への支援に関するガイドライン作成の取り組み ～策定までのプロセスと現在の課題～」

講師:佐藤直樹氏(社会福祉法人 魚沼市社会福祉協議会 地域福祉課)

20:10～20:50 質疑応答・指定発言・意見交換

司会:沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 理事 樋口美智子 氏

20:50～21:00 閉会挨拶:沖縄県医療ソーシャルワーカー協会会長 新垣哲治 氏

主催

沖縄県保健医療介護班 ・ 一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

開催方法

オンライン研修

参加者数

281名

※資料や質疑応答等は協会 HP「入退院支援連携デザイン事業」に更新しています。

新入会員紹介

地方独立行政法人 那覇市立病院 福祉相談室 城間早彩

初めまして、今年度4月から那覇市立病院に入職した城間早彩といたします。よろしくお願ひします。子どもの頃から病院に通院することが多く、困っている人の役に立ちたいと考えて医療ソーシャルワーカーを目指すことにしました。

入職し、もうすぐ1年経ち職場の先輩や上司にアドバイスも頂きながら、患者さんやご家族の支援を考えていますが、まだまだ福祉の制度や社会資源について分からないことも多く自ら調べていく必要があると日々感じています。

MSW 協会へ入会して、積極的に研修に参加することで他の会員の方と交流し色々な考えや価値観を知ることで自分自身の視野を広げていきたいと思っています。また、その視野を広げることで他機関や多職種と関係性を築いていき、患者さんやご家族の支援をより良くしたいです。

.....

ゆたしく うにげ～さびら

与那原中央病院 医療相談室 池間 俊

与那原中央病院は1985年2月創立で今年40周年を迎えました。

創立当初は40床だった入院ベッド数から170床まで増床し、現在に至っています。病院の機能としては病床数170床(一般病床:98床、回復期リハビリ病床:44床、療養病棟30床)のケアミックス型となっており、急性期医療から慢性期医療、そしてリハビリテーションまで地域の基幹病院として入院から在宅まで包括的にサポートしています。

当院の医療相談室は、社会福祉士3名と社会福祉主事1名の4名体制で日々、外来・入院患者さんやその家族への相談支援や近隣病院からの回復期・療養型病棟への転院相談窓口を担っています。業務に追われ大変な中でもお互いに協力し合い、困った事も気軽に相談できる明るく笑いの絶えないチームワークの良い部署です。

今後も会員の皆さんと共に、より良いソーシャルワーク実践ができるよう精進できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

☆回復期・療養型への相談も随時受け付けていますので、ぜひご紹介下さい☆

トピックス

「突然のがん、周囲に相談できず不安」

琉球新報 福祉の窓 2024年12月14日掲載済
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 大久保礼子

質問

突然がんと診断され、治療のこともですが、仕事や生活のこと、これからのことなど、どう向き合ったらよいのかわかりません。他の人はどうしているのでしょうか。私の周りには同じ病気の方はいないので不安です。

答え

がんの診断を受けたことで、これまで培ってきた人間関係や考え方に変化が生じ、ご自身のこれまでの生活に焦りや動揺、戸惑いなどを感じておられるかと思います。

確かに、がんは病気の特性上、治療が終わってからも定期的な通院や検査が必要になることが多く「一生付き合っていく病気」「がんと共存する」と言われることもあります。そのため、まずは自分のがんについて知ることがとても大切です。情報を探す時は、担当医から治療や病状についての説明を受けることや、がんについて信頼できる、最新で正しい情報を分かりやすく紹介した「がん情報サービス」といったウェブサイトの活用も一案です。

また、がん治療に取り組んできた体験をもつピアサポーターから、こころの状態や対処法を聞くことも、とても参考になります。県内では、がん診療連携拠点病院などで開催されている「がんサロン」や地域の「患者会」で出会うことができます。今の気持ちを聞いてもらうことで、孤独感が和らぐこともあります。

不安が強く、とてもつらい時、自分の気持ちを受け止めてくれる人、家族やなんでも話せる友人に、不安な思いを聞いてもらうことも気持ちを楽にします。つらい気持ちを抱え込まず、ぜひお近くのがん相談支援センターもご利用ください。

「財産や契約、判断力に不安。成年後見制度で利益保護」

琉球新報 福祉の窓 2025年1月25日掲載済
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 石川正悟

質問

現在、精神疾患で入院中の姉は以前、兄弟に無断で土地を売却したことがありました。支援者は弟の私だけで、また遠方のため今後の財産管理や何かしらの時に高額の契約をする時などに、きちんと判断できるか不安です。

回答

判断能力が不十分な人を守るための制度として「成年後見制度」があります。この制度には、後見(判断能力がほとんどない状態の人)、保佐(判断能力が著しく不十分な人)、補助(判断能力が不十分な人)の三つに分けられる「法定後見制度」と、「任意後見制度」の二つがあります。

「法定後見制度」は、家庭裁判所へ申し立てを行い、書類審査や申立人との面接を経て、家庭裁判所が審判をすると同時に、成年後見人などを選任します。「任意後見制度」は「今はまだ判断能力があるが、将来の自分の判断能力に備えたい人」が、あらかじめ本人が選んだ人(任意後見人)に、代わりにしてもらいたいことを契約(任意後見契約)で決めておく制度です。

後見人は、被後見人に代わり日常的な支払いや預貯金を管理し、被後見人の利益を保護するための権限として取消権が与えられており、原則として日用品の購入以外の法律行為を単独で取り消すことができます。

後見人にできないこととしては、身元保証人になること、身体介助や医療行為への同意等が挙げられます。後見人等が決まっても、家族・親族にやっていただかなければならないことがありますのでご注意ください。詳細につきましては、医療ソーシャルワーカーへご相談ください。

各部会からのお知らせ

【 研修部 】

研修部たより

■ 自主勉強会・めだかの学校

対象	対象者:おおむね実務経験3年以下
日時	調整中(開催決定次第、各病院へ FAX・グループ LINE でお知らせします)
参加方法	事前に下記までお問合せください
内容	自主勉強会
問い合わせ	博愛病院 永井(098-889-4830)

■ 自主勉強会・めだかのホームルーム

対象	対象者:おおむね実務経験4年以上
日時	2025年3月11日(火)19:00~
参加方法	事前に下記までお問い合わせください
内容	次年度計画
備考	奇数月の第二火曜日開催
問い合わせ	沖縄協同病院 兼濱(098-850-7955)

■ 自主勉強会・めだかの放課後「事例研究について学ぶ～実践を理論的に見る～」

対象	会員のみ
日時	調整中
参加方法	事前申込
備考	開催日決定次第、協会ホームページ「研究案内」で案内
問い合わせ	大浜第一病院 嘉手納(098-866-5171)

✿その他

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリー from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

こちらの QR コードからご覧になることができます



【 広報部 】

・新企画検討中 アイデアも随時募集中!!

・「**ゆたしく うにげ～さびら**」(自施設、部署など紹介コーナー)では、
会員所属の病院、施設の魅力を絶賛掲載中!!

掲載希望の方は事務局 Eメールでご連絡ください！

【 社会活動部 】

■ 第 13 回沖縄県ソーシャルワーク学会・社会福祉公開セミナー2024

2月1日(土)、「複雑な課題を抱える世帯支援のあり方を考える～それぞれの支援者の役割とは～」をテーマにてだこホール市民交流室とオンライン配信にて開催されました。

参加された皆様、お疲れさまでした。

学会では①地域の防災意識 ②ハンセン病患者支援の現状と課題 ③身よりない方への総合的支援と地域課題について、実践が報告されました。

セミナー、シンポジウムでは講師より、「家族全体をアセスメントし家庭や子ども支援のために業務内の領域を越えて、地域のソーシャルワーカーや関係機関と連携・協働していますか」と問題提起がされ、もう一步踏み込んだ家族支援の重要性を共有しました。

■ 『福祉の窓』(琉球新報・土曜新聞掲載)

2001年にスタートした県 SWr 四団体の新聞投稿は、1080回をこえました。今年度も各医療機関の会員の協力をいただき投稿することができました。実際にある相談内容、制度や地域課題などについて県民への周知となるうえ、MSW の専門性、権利擁護、制度活用によるエンパワメントなどソーシャルアクションの 1 つになっています。

来年度も会員のご協力をよろしくお願いします。

■ ハンセン病患者及び回復者支援について

らい菌による感染症は 100 年前、日本の政策によって偏見と迫害の歴史があります。県内には後遺症をもちつつ生活する高齢の方々があります。公益財団法人沖縄

県ゆうな協会の相談窓口にはソーシャルワーカーが配置されています。病気を正しく理解するため、患者家族の援護に関する知識をえるためにホームページにアクセスいただければと思います。

ゆうな協会 相談たより <https://www.yuunakyokai.jp/news.html>

理事会議事録

12月理事会報

2024年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2024年12月16日(月)19:00~20:00

場所: 中頭病院 リモート併用(Zoom)

【出席者】當銘由香副会長、安慶真樹名副会長、秦克之事務局長、伊禮智則

【Zoom 参加】新垣哲治会長、高江洲アヤ子、長原野、池間俊、大城将平、大嶺洋、宮城郁美、玉那覇夏汀

【委任者】奥平藤也

オブザーバー: 樋口美智子、嘉手納泉也、高澤信哉、兼濱愛里、宮城幸之助

<各部報告・協議事項>

【研修部】以下の報告を受けました

□(1) 全体研修

日程: 2025年1月25日(土)14時~17時

テーマ「記録について生活支援記録法(F-SOAIP)」

講師: 国際医療福祉大学 高石 麗理湖 先生 @オンライン開催

研修内容: F-SOAIP について、後半は事例を交えたグループワーク(案)

参加申込: 今月申込開始予定(広報部に掲載依頼)

(2) 自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』

2024年度 第2回 調整中

問い合わせ先: 沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

②めだかのホームルーム 担当: 兼濱 @Zoom 開催

2024年度 第5回 2024年1月14日(金)19時~ 事例提供: 與座さん(大浜第一病院)

③めだかの学校 担当:永井・玉那覇 @ハートライフ病院

2024 年度 第 4 回 2024 年 2 月 次年度計画について

アンケートの実施案)事例報告(ピア)、施設・病院見学、制度の流れを利用者目線で学ぶ、自分たちの病院機能を教えあう

(3)九州協議会関連事業

九州協議会次年度計画会議 3月上旬 集合で開催予定

(4)全体スケジュール確認

①定例勉強会(総会抱き合わせ)

日程:次年度総会前の1時間程度 内容:身寄りなし問題

※総会日程の決定、場所の確保を確認しながら調整します。

5)その他

・次年度初任者研修

次年度開催時期は次回研修部 MTG で調整

2022 年度開催:6/24,7/9,7/23,8/20,9/10

※講師の依頼について確認中

【広報部】以下の報告を受けました

□MSW ニュース: No.141(1月発行)那覇市立病院／松崎さん

□公式 LINE 登録者数: 161 名(前月より増減なし)

□公式ホームページ閲覧数: 11 月/1175 件(前月比-875 件)

【社会活動部】以下の報告を受けました

□福祉の窓: 若松病院 原稿 1/6 枚

□沖縄県ソーシャルワーク学会 社会福祉公開セミナーについて

<その他 報告協議事項> 以下の報告を受け意見交換を行いました

□沖縄県入退院支援連携デザイン事業

・これまでの事業のHPへの動画アップ等の調整: 広報部へ調整依頼、HP のレイアウト変更調整

① 身寄りのない人への支援ガイドライン作成委員会

・編集 WG: たたき台作成後、成果物について県と調整。再度見直しを協議する

※今後のスケジュール:

・1 月第2回臨時 ZOOM 委員会、①案1月28日(火)19:00~／②案2月7日(金)19:00~
事前に委員に報告書案版をメール送付。

・2 月第3回対面委員会、案2月19日(水)14:00~16:00、場所:(仮)県医師会館

② 多職種研修会:

・10 月 30 日(水)19:00~、Web 上でのアンケート実施／研修会参加者 281 名・回答数 116 件／

回答率 41.3%

③ 住民説明会(伊江村):11月20日(水)13:30~15:00

・参加者数 : 38名、

④ 2025年度デザイン事業の企画

・各地区医師会等の事業との擦り合わせ

※次回理事会 2025年01月20(月)19:00~

司会:安慶名 書記:池間 連絡:大嶺

議事録署名人 新垣 哲治

1月理事会報

2024年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2025年1月20日(月)19:00~20:00

場所:中頭病院リモート併用(Zoom)

【出席者】當銘由香副会長、安慶真樹名副会長、秦克之事務局長、伊禮智則

【Zoom参加】新垣哲治会長、高江洲アヤ子、長原野、池間俊、大城将平、大嶺洋、宮城郁美、
玉那覇夏汀

【委任者】奥平藤也

オブザーバー:樋口美智子、嘉手納泉也、高澤信哉、兼濱愛里、宮城幸之助

<各部報告・協議事項>

〔研修部〕以下の報告を受けました

□(1) 全体研修

日程:2025年1月25日(土)14時~17時

テーマ「記録について生活支援記録法(F-SOAIP)」

講師:国際医療福祉大学 高石 麗理湖 先生 @オンライン開催

研修内容:F-SOAIPについて、後半は事例を交えたグループワーク

参加申込:1/18(土)まで 申込人数:30人(会員26人、非会員4人)

(2) 自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』

2024年度 第2回 調整中

問い合わせ先:沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

②めだかのホームルーム 担当:兼濱 @Zoom開催

2024年度 第5回 1月14日(金)19時~ 事例提供:與座さん(大浜第一) 参加:5人

次回 第6回 3月11日(火)19時～ 次年度計画について

③めだかの学校 担当:永井・玉那覇 @ハートライフ病院

2024年度 第4回 2024年2月 次年度計画について

(3)九州協議会関連事業 担当:池間

九州協議会次年度計画会議:3/8 集合で開催

(4)全体スケジュール確認

①定例勉強会(総会抱き合わせ)について

〔広報部〕 以下の報告を受けました

MSW ニュース: No.141号(1月発行) 沖縄協同病院/鶴淵さん

MSW ニュース 142号(3月発行予定)、牧港中央病院;小橋川さん

原稿依頼予定:「ゆたしこうにげーさびら」与那原中央病院、「実習生受入報告」中部協同病院

公式 LINE 登録者数: 161名(前月比:+1名)

協会ホームページ閲覧数: 1167件(前月比:-8件)

協会ホームページ改修の相見積もりについて(別紙添付あり)

〔事務局〕 以下の報告を受けました

入退会報告

入会届: 0人

所属先変更: 0人

退会届: 1人

支払い確認

・全国医療ソーシャルワーカー協会会長年会費 1000円 前年度立て替え

・県民健康フェア負担金(去年 10/26 6500円)

・九州医療ソーシャルワーカー協議会負担金(去年 1/26 振り込み 46500円)

・県 SW 学会・社会福祉公開セミナー分負担金(去年 3/26 振り込み 30000円)

<その他 報告協議事項> 以下の報告を受け意見交換を行いました

沖縄県入退院支援連携デザイン事業

①身寄りのない人への支援ガイドライン作成委員会

第2回 2025年2月7日(金)19:00~21:00,ZOOM 18:50~オープン

第3回 2025年2月19日(金)14:00~16:00,ZOOM 13:30~オープン、ハイブリッド

会場: 沖縄県医師会館

②多職種研修会:

・2024/10/30 多職種研修の報告書と講師宛のお礼状を添付済み。講演資料は省略。

- ・ 報告書は県、講師、参加申込者（参加者メールは収集していないため）にメールで一斉送信する予定。

③2025 年度 デザイン事業計画・予算計画について

※次回理事会 2025 年 02 月 17(月)19:00～

司会:秦 書記:大嶺 連絡:大城

議事録署名人 新垣 哲治

☆ 編集後記 ☆

この時期になると沖縄には沢山のプロ野球チームの球団がキャンプで訪れます。
一番の楽しみは、推しの選手を間近でみるができることです。
打球音やピッチャーの投げ込むボールの風を切る音、重圧感のあるミット音の迫力は
別格です。まだ見たことのない方は、一度足を運んでみるのはどうですか？

MSW 協会 公式 LINE 加入のご案内

協会名を検索して「友だち追加」で完了！



<https://www.msw-oaswhs.jp/>



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services